

## 読売新聞連携講座

# 「魚たちが見た霞ヶ浦」

[日時]2017年5月20日(土)13時～15時

① [講演] 「霞ヶ浦の水質と生態系」

[講師] 中里 亮治(茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター准教授)  
苅部 甚一(茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター助教)

② [講演] 「霞ヶ浦の魚たち — 外来種と在来種の攻防戦」

[講師] 加納 光樹(茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター准教授)  
碓井 星二(東京大学特任研究員)

◎研究室の学生による霞ヶ浦の生き物の観察コーナー

[会場] 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

[共催] 読売新聞水戸支局

[後援] 茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター

中里研究室 加納研究室 苅部研究室

2018年10月、第17回世界湖沼会議が茨城県内で行われます。県内にある霞ヶ浦は、日本第2位の湖面積をもち、私たちの暮らしとも深く関わっている湖です。これまでに水質悪化、水辺植生の衰退、外来種の侵入などの大きな環境変化がありましたが、いまだに豊かな漁業資源があり、生物多様性が高いことでも知られています。いまの霞ヶ浦には、いったいどんな生き物が住んでおり、どのように暮らしているのでしょうか。魚たちと出会うテクニックとは？茨城大学広域水圏環境科学教育研究センターの専門家と学生が、霞ヶ浦の生き物の魅力と観察方法をやさしく、楽しくお話しします。実際に魚やプランクトンが見られる観察コーナーもご用意します。

すべての事業が無料です。申し込み不要です。

どなたでもご参加いただけます。